

たまなび²⁰²⁴



令和6年度

大学生の地域参加促進事業実施委託

報告書



1 目的

少子高齢化、人口減少社会が進展し、市民自治のまちづくりを進める上で、より多様な世代の参加が求められている昨今。多摩区役所においては、区役所と区内3大学（専修大学・明治大学・日本女子大学）で構成する「多摩区・3大学連携協議会」において、若者が多く住む多摩区の強みを活かし、大学生の主体的な地域参加を促進する手法について検討してきた。これまでの検討内容を背景とし、区内の様々な地域を学生の学びの実践フィールドと捉え、地域住民との交流や地域活動体験等を通じて、単なる座学だけでは得られない多くの気づきや学びを得て、地域とのつながりや関心を強め、多摩区への愛着意識を醸成する取組を進めることで、大学生と地域が連携した活力ある地域づくりにつなげることを目的として本事業を実施する。具体的には、大学生が一連のプログラムを通して、地域との交流する機会を創出する。受注者は、これらのプログラムを効果的、効率的に実施するため、本事業の企画提案、必要な調整及び支援を行う。

2 実施概要

（1）テーマ

多摩区の食を楽しもう

（2）支援対象者

区内3大学（専修大学、明治大学、日本女子大学）に在籍する大学生

（3）対象者等

ア | 多摩区役所まちづくり推進部企画課が募集する15名程度

イ | 15名程度を3グループ程度に分けて、地域連携を実施する

昨年度は、「多摩区ソーシャルデザインセンター（以下、多摩SDC）」の事業と「たまなび」を協働で実施、区内3大学に在籍する大学生への呼びかけに加え、多摩SDC側が広く呼びかけた大学生も参加し、同事業に参加した。今年度は「たまなび」のみでの開催とした。

（4）主な内容・スケジュール

0 | 対象者募集【8月26日（月）～ 9月13日（金）】

事務局・受託者間での企画検討や告知の方針などについての打ち合わせ後、受託者側で募集チラシ・ポスターを作成。各所への配布・貼付の他、各大学のポータルサイトでの呼びかけ等を行った。参加者は3大学、計12名となった。

1 | オリエンテーション等の実施【9月24日（火）18:00 - 21:00 @多摩区役所6階】

全6回のプログラムのオリエンテーションを初回に実施。参加大学生（以下、大学生）に対して、本事業の目的や内容等の周知、多摩区の「食」「農」についての情報提供、大学生の班分けなどを実施。

2 | 多摩区の農地を知ろう【9月29日（日）10:00 - 15:00 @高橋農園、ミライノバ街中空き地】

かわさき・食と農のコミュニティ代表の清水まゆみ氏をゲストに迎え、のらぼう菜栽培等を行っている高橋農園の視察を行った。休憩を挟み、ミライノバ街中空き地を見学、その場でワークショップを実施。

3 | レシピを考えよう【10月22日（火）18:00 - 21:00 @多摩市民館料理室】

フランス料理店ディアログ・オーナーシェフの好井祐輔氏をゲストに迎え、多摩区の野菜等を使ったレシピの検討を実施。

4 | イベントを考えよう【11月5日（火）18:00 - 21:00 @多摩市民館料理室】

引き続き好井祐輔氏をゲストに迎え、レシピの確定や、イベント実施内容の検討を実施。

5 | お店を開店しよう【12月7日（土）9:30 - 17:00 @多摩市民館料理室、SUGAR TIME COFFEE】

前半は多摩市民館料理室で料理を仕込み、後半は登戸2号線沿いのSUGAR TIME COFFEEの敷地をお借りして、仕込んだ料理を振る舞うお店を運営。

6 | 振り返ろう【12月17日（火）18:30 - 21:00 @多摩区役所6階】

ここまでのたまなびを振り返り、大学生各自のこれからの展望の共有、地域活動団体の紹介、その後交流会を実施。

3 実施内容の報告

以下では、実施した内容のうち、主に受託者が関わった内容について、実施の時系列で報告する。

(0) 事前ミーティング【8月1日（木）10:30 - 12:00 @多摩区役所】

本事業の受託者決定後に一度、企画課と受託者の間で打ち合わせを設け、募集告知、オリエンテーション及びそれ以降のプログラムについて確認を行った。事前ミーティング前には、受託者が本事業のサポーターとして関わる清水まゆみ氏、好井祐輔氏、スミナツコ氏との顔合わせも行った。

サポーターの皆さん

清水まゆみ氏：かわさき・食と農のコミュニティ代表。川崎市多摩区で農業を営んでいた故・高橋孝次氏の思いを受け、多摩区の伝統野菜であるのらぼう菜の普及活動を続けている。

好井 祐輔氏：下北沢にある、ミシュランのビブグルマンに選ばれているフランス料理店「ディアログ」のオーナーシェフ。多摩区在住。地域貢献に興味を持ち、サポーターとして参加。

スミナツコ氏：多摩区でさまざまなまちづくり活動に取り組むデザイナー。多摩区PRアンバサダーに就任し、精力的に地域を盛り上げている。

（1）オリエンテーション【9月24日（火） 18:00 - 21:00 @多摩区役所6階】

内容：

- 18:00 開会・はじめに
- 18:05 たまなびについて
- 18:15 スタッフ・サポーターの紹介
- 18:40 テーマ「食」について
- 18:55 自己紹介
- 19:05 グループワーク（席替えをしながら参加者同士で交流）
- 20:50 今後の進め方・事務連絡
- 20:55 閉会

「たまなび」のオリエンテーションを行った。多摩区役所企画課からの挨拶以降は受託者が司会進行を担当。たまなびの概要や多摩区についての説明、サポーターとして関わる3名の紹介（スミナツコ氏のみ同席）、テーマである「多摩区の「食」を楽しもう」に関わる「食」「農」などについての情報を提供した。学生それぞれの自己紹介後のグループワークは、「学生生活で楽しいことって？」「多摩区のイメージってある？」「「食」ってテーマで何ができる？」という3ラウンドのワールドカフェ形式（席替えしながら色々な人と意見交換を行う形式）で実施。参加学生の交流の時間とし、最後に大きく「つくるチーム（料理担当）」「めぐるチーム（企画担当）」の2チームをつくった。



オリエンテーション



グループワークで意見交換

（2）多摩区の農地を知ろう【9月29日（日） 10:00 - 15:00 @高橋農園、ミライノバ街中空き地】

内容：

- 10:00 開会・はじめに
- 10:05 清水氏とまち歩き
- 11:40 後半に向けての確認／休憩
- 13:00 後半の進め方の確認
- 13:20 のぼりと園芸部の紹介
- 13:30 グループワーク（フィールドワークに向けて意見交換）
- 14:50 今後の進め方・事務連絡
- 15:00 閉会

ゲストとして清水まゆみ氏にお越しいただき、JR南武線稲田堤駅から徒歩10分程度の高橋農園へ。多摩区の伝統野菜であるのらぼう菜の紹介や、栽培状況の見学などを行い、矢野口駅までまち歩きをした。後半は登戸駅で集合してミライノバ街中空き地へ移動し、担当者の方から「のぼりと園芸部」の活動について紹介を受けた。

前半の気づきを共有した後、グループワークとして、宿題のフィールドワークに向けた作戦会議などに時間を当てた。



清水まゆみ氏のレクチャー



高橋農園を見学



まち歩きをしながら別の畑を見学



ミライノバ街中空き地

(3) レシピを考えよう [10月22日 (火) 18:00 - 21:00 @多摩市民館料理室]

内容：

- 10:00 開会あいさつ
- 18:05 好井氏の紹介
- 18:15 フィールドワークの共有
- 18:25 レシピづくりの意見交換
- 19:10 グループワーク
- 20:35 片付け
- 20:50 今後の進め方・事務連絡
- 20:55 閉会

(4) イベントを考えよう【11月5日(火) 18:00 - 21:00 @多摩市民館料理室】

内容：

- 18:00 開会あいさつ
- 18:05 チームに分かれてワーク
- 19:45 試食&意見交換
- 20:25 片付け
- 20:50 今後の進め方・事務連絡
- 20:55 閉会

多摩区在住でもあるフレンチシェフの好井祐輔氏を迎え、たまなび第3回、第4回を通じて、イベントで提供する料理のレシピづくりを行った。多摩区の野菜を活用しながら少し特別感のある料理として、好井氏からミートローフがすすめられ、第3回ではまず試作。第4回で「つくるチーム」を中心に、大きさや提供量などの調整を行うと共に、大学生側から提案のあった和梨のコンポートを添えたスイートポテトづくりも行った。

並行して「めぐるチーム」はイベントの企画や広報などについて検討。最終的に販売ではなく、料理を振る舞いながら、多摩区の野菜や、農についての紹介などを行う企画にまとまった。実施場所は登戸2号線沿いにある「SUGAR TIME COFFEE」の敷地をお借りすることになった。なお、イベント企画を詰めるミーティングや、料理の練習、広報物の作成・配布など、講座外の時間を使った本番に向けて複数回の準備を行った。



好井氏を交えてレシピづくり



ミートローフの試作



企画を考える



スイートポテトをつくる

〔5〕お店を開店しよう〔12月7日（土）9:30 - 17:00 @多摩市民館料理室、SUGAR TIME COFFEE 〕

内容：

- 09:30 開会あいさつ
- 09:40 準備する
- 12:55 現地設営
- 13:50 最終確認
- 14:00 オープン
- 16:00 撤収作業
- 16:50 今後の進め方・事務連絡
- 17:00 閉会

事前に購入しておいた多摩区の野菜や材料を使って、前半は料理室で約100人分のミートローフ及びスイートポテトを調理。午後並行して現地の設営を行い、14時から2時間、地域の方に料理を振る舞う企画を実施した。料理の提供担当、地域の方との交流担当、チラシの配布担当などに分かれ、イベントを進めていった。ミートローフは、さつまいも入り、ブロッコリー入りの2種を用意して好きな方を選んでもらい、スイートポテトをつけて提供した。2時間を通じて100食を配り切り、用意したレシビリーフレットを渡しながら、地域の方々との交流が続いた。

また、イベントへの誘導や賑やかしを兼ね、登戸区画整理事務所への道路占用許可申請、及び警察署への道路使用許可申請を行い、登戸2号線、SUGAR TIME COFFEE前の歩行空間に組み立て式屋台を2つ並べ、スミナツコ氏と登戸まちなか遊縁地の事務局などを行っている佐々木暁美氏主導で交流空間を生み出した。



事前準備



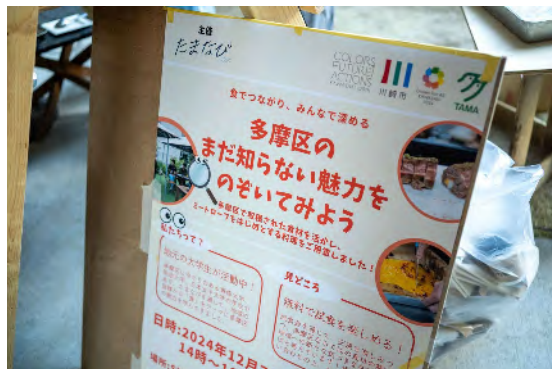
会場のSUGAR TIME COFFEEと登戸2号線



チラシを配布する



料理を提供する



大学生が作成したポスター



集合写真

(6) 振り返ろう [12月17日(火) 18:30 - 21:00 @多摩区役所6階]

内容：

- 18:30 開会あいさつ
- 18:35 これまでを写真で振り返る
- 18:45 全体で振り返る
- 19:45 事務局より／地域での活動窓口の紹介
- 20:05 アンケート記入
- 20:10 交流会
- 21:00 閉会

約2ヶ月半のプログラムの振り返り会を開催した。写真で一連のプログラムを振り返った後、全体で「たまなびの感想は?」「たまなびを通じてできたことって?」「今後にどのようにつながりたい?」といった投げかけから意見交換を進めた。今後の多摩区内での活動のきっかけの一つとして、多摩SDCの活動の紹介を現在活動中の大学生から説明してもらう時間も設けた。

最後に、多摩SDCの学生も残った上で交流の時間をつくり、一連のプログラムを終了した。



意見交換



多摩SDCの活動紹介

4 アンケート

【第1回】10名回答

A. 今回の講座の感想をお聞かせください

- ・普段話をしない他大学で学年も違う人たちと会話することができていい時間だった。他者との意見交換は自分にはない視点を得ることができとてもためになった。
- ・他学生の学生さんと「食」というテーマで話し合うことができてとても新鮮でした。同じテーマでも食べる・作る・体験する・紹介するなど色々な視点がありとても楽しかったです。
- ・料理づくりに興味を持って参加したのですが、同じような人もいたり、多摩を知りたいと思ってきた人など色々な人がいて話をしていたとても楽しかったです。
- ・最初のお話であった「周りと違う時間を過ごす」という言葉がすごくひびいて、何かをやりたい、始めたいと思う時はみんなも感じ取ることができる気づきを見つけるのではなく、自分だけの気づきや感じ方を大切にすることが必要と知りました。
- ・多摩区はのらぼう菜や梨が有名であることを初めて知った。普段区内を歩いていて農園に出会った記憶はないので今回を機に見ていきたいと思った。
- ・学生達で主体的にイベントを作り、イベントを成功させることができて良かったです。食に関連してどんなことが出来そうかを話し合ってみたら色々な案が出てきたのでこれからを想像してワクワクしました。
- ・様々なメンバーの話を聞くことが出来て良かった。多摩区、登戸遊園を日常的に利用しない人もいたので、まずは自分たちに需要のあるコンテンツにしていきたい。
- ・地域についての特産物や取り組みについて細かく知れた。メンバーの方との交流も出来ていい時間でした。
- ・多摩地区の新たな魅力や野菜について知ることができ、これからそこを深めていくことが楽しみになりました。

B. 今日の学び、気づきをお書きください

- ・多摩にもその地域の特産品みたいなものが存在していてびっくりした。
- ・多摩区にフォーカスして話すことがなかったので、学生中に周りも巡ったり通学路も散歩してみたりできるのにできていないことが沢山あると気付かされました。
- ・多摩のこと全然知らないということに気づきました。みなさんが多摩の魅力をたくさん伝えてくれたので今度下車して散策してみたいと思います！
- ・自分で考えるだけでは自分の興味のある部分しか深く考えることができないですが、人と対話すると様々な角度で1つの物事を捉えることができ、新たな価値を生み出すことができると感じました。
- ・多摩区独自ののらぼう菜や梨が有名であり、市内にはワイナリーがあることも知った。川崎は工業のイメージが強いため、そのようなことは知らず驚いた。
- ・多摩にはたくさんの地元で作られている特産品があると知りました。また、グループディスカッションを通じて自分が考えている考えとは違う面白い案もあり、物事を色々な面から考えることの大切さに気付かされました。
- ・自分の生活圏内でもなんとなく利用していたり、なんとなく通りすぎたりしていて、意外と知らないことが多いなと思いました。少し明日から地域を見る視点が変わりそうです。
- ・日頃から感じていた、駅を大学の利用のみになっている。ということを実感させられた。一方で、まちを巡ってみて飲食店を発見しようという意見やすでに行っている人もいたりして街にある魅力を伝えられるようにしたい
- ・自分が知らないだけで多摩区の魅力がたくさんあること。知られていない光の部分もある。
- ・のらぼう菜、梨が多摩区の名産であることを知りました。また、地域の中には「食」の魅力発信に向けて動いている人達が多くいたことに驚きました。また、多摩区と関わりのある人が多かったことが意外でした。

C.その他、自由にお書きください

- ・とても充実した時間でした。ありがとうございました。のらぼう菜を調べて食べてみたいです！
- ・人と話すことで自分の考えを固めたり変えることができ、楽しかったです。
- ・他大学、他学年と自由に会話ができる場、貴重で楽しかったです。3ヶ月間よろしくお願いします！
- ・私は料理をすることが好きなので、得意を生かして地域の魅力をより広く発信できるといいなと思っています！！
- ・グループワークの中で、これからの活動や「食」の活動について様々な案が出たので、これからの取り組みや最終的にどんな形として完成するのかとても楽しみです。他の学生とそこを作り上げていくこと、交流を深めていくことを楽しみたいと思います。

【第6回】8名回答

A.たまなび全体を通じ、気づき、感想などをお聞かせください

- ・自分は本番であった日に体調不良で参加できず、そこだけ本当に残念です。また、リベンジということで次の機会に参加させて欲しいなと感じました。
- ・地域の活動に参加することが中学校頃から全くなかったので、今回参加して地域の温かさを感じたのと、調べていなかっただけで学生のみで行っている活動がたくさんあることを知りました。
- ・今までの自分だったら声をかけづらいな、どう対応したら良いかわからないなという人がいたときにこうすれば良かったんだと思うことがたくさんあったので今後の生活にいかしていきたいと思います。
- ・料理を知らない人に提供する責任感や当日に間に合わせることを学んで、最終的にうまく終了させることができて良かった。多摩区ののらぼう菜や梨などに関わることがなければ知らなかったことを知れて良かった。
- ・学生達で主体的にイベントを作り、イベントを成功させることができて良かったです。
- ・向ヶ丘遊園や登戸など、私にとって通過点でしかなかった地域について深く知ることができ、少しでも地域コミュニティに参加できた点ですごく実りのある活動でした！私自身、百合ヶ丘で20年暮らしてきて百合ヶ丘でバイトをしていて、自分の地域のことにっては知る機会も多かったのですが少し行ったところにこんなに素敵な場所があるんだ！と大発見でした！
- ・食の観点から多摩区を見ることができたことが新鮮でした。また3大学で交流する機会は日常ではないので、このような機会が集まることができて良かった。今後、何かの拡がりがあると良いと思う。
- ・まず大きな収穫として地域の農家や人々とこんなに関わりを持てたことに新たな経験が得られた。地域にこれだけ色々な場所があることや多摩区周辺の人々の温かさも感じられた。多摩区ってとても良い場所だなと思った。

B.その他、全体を通じて自由にお書きください

- ・自分からでは地域のことにについて調べる機会もないし、特産品なども知ることがなかったので、それをここで知れたのはとても大きな機会です。感謝しています。
- ・今回は多摩区への活動もしましたが、今後は大学側での活動や自分の住む地域での活動に目を向けたいと思いました。
- ・たまなびに参加して地域でこんなことやってみたい、地域を知りたいと思ったときは、1人で行動するのではなくみんなで話し合いを重ねる事で良いものができるなと感じました。
- ・活動を通して至らぬ点が多々ありました。サポートしてくださりありがとうございます。
- ・多摩区の人々の温かさをイベントでより感じる事ができました。また市のボランティア等の活動にも興味を持ちました。市政にも関心を持ちました。
- ・途中で参加しなくなってしまった方がいたが、欠席なのか離脱するのがわからなく、その方に役割を振っていいのか分からず、少し困ったのでメンバー同士の連絡手段は何か他の方法を考えておくべきだったかもしれないと思った。
- ・自分たちで料理を提供し、喜んでもらえたということが初めてとても良かった。また、当日に80人近くを道での声かけて集められたことも良い経験であった。自分たちでレシピやチラシを考え、実践することも初めてであり、良い経験となった。

C.参加者募集の「時期」は適切でしたか？

- ・適切だった 6 (75%)
- ・適切ではなかった 2 (25%)

適切ではなかったと書いた方の自由記入：

- ・望ましい時期：少し早めに、食材の準備等
- ・望ましい時期：今回の募集期間が夏季休暇中だったので、夏季休暇前などに募集開始できると良いのではないかなと思う

D.参加者募集の「期間」は適切でしたか？

- ・適切だった 8 (100%)

E.プログラムの「実施期間」「回数」「時間帯」などは適切でしたか？

- ・適切だった 8 (100%)

自由意見：

- ・土日などを中心にしていただけるともっと参加できたかなとは思いますが、遠くに住んでいる方もいると思いますので、難しいなと感じました
- ・もう少し多くても良かったかな？と思います
- ・もう少し活動回数があったら、もっと普段関わらない皆と仲良くなれるのかな...と思いました
- ・もう少し回数があると参加者とより関係を築くことができたのではとも思った

F.地域との関わりが増える要素についてアイデアがあれば教えてください

- ・大学の掲示板にチラシを貼るのもいいと思います。
- ・小・中学校でイベントを開催したり、近くの公園などで〇〇フェアなどのイベントを行ったりするとより、コミュニティが増えるかなと思います。個人的には小学生などの小さなお子さんだけでなく、高校生や大学生などのあまり地域の活動に参加しないような年代に参加してもらえばいいかなと思いました。
- ・学生は学校以外で気軽に立ち寄れるサードプレイスのものを欲しがっている人が多いと感じているので、勉強やお話がしやすい地域の場所やお店を大学の学祭や地域のお祭りで紹介してもらいたいかなと思いました。
- ・積極的に関わりに行く。お祭りに行ったり、歩いて回ったりして地域について知る
- ・大学生達が地元の方々の手伝いなどをできる活動
- ・地域の人が知らない情報をもっとたくさんの人に知らせられるコンテンツや機会があれば良いかなと思いました！
- ・既に地域にあるコンテンツで学生が参加し易そうなものを学生に届けられる手段が確立できると良いと思う。
例）大学の広報課を通してチラシの掲示、地域団体・サークル等への呼びかけ
- ・自分的に子ども達と関わる事ができるイベントがあると良い。

G. 来年度のたまなびがどのようなテーマ・内容だったら参加したい・オススメしたいですか？

- ・同じ内容でも違う内容でも参加したいです！
- ・子ども食堂をやってみたいです。スポーツイベントなども楽しそうだなと感じます。
- ・フィールドワーク多めで、今回同様、地域の魅力を知ることができる内容。
- ・同じように食について考える食育
- ・地域を活性化させられる内容、たくさんの人々と関わる事ができる活動
- ・食について、もっと深掘りできそうだなと思いました！今回のように地域の人と関われる機会があれば！！
- ・自分も何か関われそうと感じられるテーマの内容
 - 1.〇〇学部の人であれば～のようなことができる。ことを示す
 - 2.地域と関わるとどのようなことができるかを示す など
- ・子どもと触れ合う。楽しむ。

5 本事業のまとめ

今年度のたまなびは、昨年度までの多摩SDCとの協働による取り組みから形を変え、改めて多摩区役所企画課主導の「たまなび」とし、多摩区にゆかりのある3大学の学生のみを対象とするプログラムとした。また、新たなテーマ「多摩区の「食」を楽しもう」を設定することで、全体のプログラムも大きく変化し、地域のプレイヤーをたまなびのサポーターとして複数名迎え入れ、主に多摩区の「食」に興味のある大学生が参加する企画となった。

「食」というテーマに対応する為、多摩区にゆかりのある地域のプレイヤーの方々をサポーターに選定した。かわさき・食と農のコミュニティ代表の清水まゆみ氏は、川崎市の「農」の事情に詳しく、多摩区の伝統野菜のらぼう菜の普及に尽力もしている。ミシュランのビブグルマンにも選ばれているフランス料理店ディアログ・オーナーシェフの好井祐輔氏は、多摩区にある自宅を時々開放し、夫婦共にサロンの活用や、料理教室の開催などを行うなど、地域への貢献に強い関心を持たれている。そしてスミナツコ氏は、多摩区PRアンバサダーとしての活躍や、地域コミュニティ活動への精力的な貢献などを多く行い、地域の中でも顔の広いデザイナーである。また、多摩区内で実施されるお祭りなどのイベントへ出店するのではなく、参加大学生がメインで実施する企画とし、地域に根ざした「SUGAR TIME COFFEE」協力で敷地の一部をお借りし、日常の延長上でのイベント実施となった。

プログラムを通じて、「食」を軸に、多摩区の現状を知ることや、地域に様々な分野の面白いプレイヤーがいることを伝え、参加大学生それぞれができることを学び実践する機会を生み出していくことができた。

また、今回サポーターとして参加した3名それぞれから以下のような感想や意見をいただいた。

清水まゆみ氏：多摩区は大学生がまちにいる、これは強み。そして今回のようにまち歩きとして農家、畑を訪問したのは、こうした仕掛けをしないとなかなか実現しないことと強く思っています。今回参加してくれた学生の皆さんはすごく前のめりの意識で回ってくれていました。それは日々の「食」につながる。ここが大事。まちを歩いて、その先にどう暮らしが変わるか.....時間軸が異なる農家の方から得ることはすごく大きいと思います。そのお手伝いができたこと、感謝です。

好井 祐輔氏：とても良いプログラムだと思いました。希望者が全然集まらないかも？なんて思っていたんですが、きちんと集まり、人数的にも丁度良かったように思います。僕の経験の中では、仕事を中心で、住んでいる地域でこのような機会との出会いが無かったからか、羨ましい気持ちと、地域（多摩区）からの若者への想いみたいなものが伝わるといいなあと感じました。そして、これからも続けていって欲しいなと思います。

スミナツコ氏：忙しい学生生活や遠いエリアからも興味をもって参加をしてくれることが嬉しい。告知がギリギリであった為、もっと多くの学生に届けられるよう、そこを改善できれば良いです。多摩区にただ通学として通っていた学生が多摩区の街を少しでも身近に感じた良い機会だった。やることがあらかじめ割と決まっていることはスケジュールや事業上仕方がないとは思いますが、学生の本当にやりたいことをじっくり話し合い、探し出し、やれる機会も作れたらいいなと感じた。フィールドワークの菅のまち歩き、清水さんのお話、農家めぐ

り、竹田さんのミライノバ街中空き地のお話など、実際の現地で関わっている話を聞くのはとてもよかった。実践回である好井さんの回も、プロのシェフが調理室をフル活用した実践も豪華でよかった。大人が一生懸命に取り組む姿を見ることができてよかったし、ミートローフにさつまいものデザートレシピも指導もして多摩区の食材で美味しく素敵にまとめてくれて素晴らしかった！途中現れた協力者のおかげでほこみちを使うことができて広がりが生まれてよかった。発表会では準備も本当にできるかどうかドキドキしたが、当日は見事に100食作り提供した学生さんたちは本当にすごいと思った！現地でも普段お店の常連さんもそれ以外の通りすがりの初めてのかた、近所のおばあちゃんおじさん、様々な方に来てもらい、喜んでいて、多摩区の食でつながる地域の体験は豊かな時間だと感じた。

後日、親子できた方から感想頂いたので共有します「学生がぎこちなく大人や子供とコミュニケーションを取り、地域の魅力をアピールすることは、凄く良いイベントだと思うので、継続的に実施頂く事を希望します」。

以下に挙げる内容については、次年度以降の改善・検討が必要と思われる点である。

1 | 募集時期の設定や実施頻度などの再考

今年度は、3大学の学生15名を募集したところ、12名の参加となった。当初予定から、募集開始から終了までの期間が夏季休暇と被っており、チラシやポスターなどの広報物、各大学のポータルサイトでの発信などを行ったものの、定員には至らなかった。事後アンケートやヒアリングから、夏季休暇前の情報発信であればより集まりやすいという意見を吸い上げることができた。

2 | 実施頻度などの再考

また、授業や就職活動、アルバイトなど、繁忙な大学生活に考慮して短期に集中させるプログラムを実施したが、参加大学生からは他大学生や地域の方との交流機会を求める声が多く挙がっており、むしろ実施頻度を上げて交流機会を増やすことを望むものであった。本番に向けた準備のあたりからインフルエンザや風邪などが猛威をふるい、参加大学生も3、4回目を休む大学生が出てしまい、そのまま来づらくなってしまいう大学生が3名ほど出てしまった。実施回数を増やす、プログラム内で交流機会を増やすなど、大学生同士がコミュニケーションをより取れる環境づくりが求められている。

3 | 大学生が主体性を持てるプロセス

事後アンケートでは、地域でのフィールドワークの充実や地域をより深掘りする機会、お祭り・イベントなどへの参加、地域の子供と触れ合いなど、参加大学生が積極的に関わっていくプログラムを望む声が上がっている一方、今回のプログラムの中では、第2回、第3回の間で設定したフィールドワークや、レシピづくりの取り組み、イベントの企画などの場面で、大学生の積極性が感じられない場面も多く見られた。5-2で挙げている大学生同士のコミュニケーション不足や、情報共有手段など意思疎通の不足など、運営面や、プログラムの仕掛け方などである程度カバーできた可能性もある為、次年度以降は大学生がより主体的に取り組むことのできるプロセスづくりの検討が必要である。

6 今後に向けて

最後に本事業の今後に向けた展望を示す。

1 | 「食」というテーマの掘り下げを行う

今年度のテーマ「多摩区の「食」を楽しもう」は、農地が多く、野菜や卵などが豊富に生産されている「多摩区」を知る機会としても良いテーマ選定であり、また地域で「食」にまつわるプレイヤーも多くいることや、地域の魅力を大学生が広めるツールとしても分かりやすく、大学生が地域に目を向けるきっかけとしても比較的入りやすい（ハードルの低い）ものであった。

次年度以降「スポーツ」「歴史」「子ども」「文化（カルチャー）」など、別の切り口でのテーマ設定での展開も考えられるが、5-3にあるような大学生が主体的に取り組むことのできるプロセスをつくる上では、引き続き「食」を掘り下げていく、大学生が地域を知り、興味を持ち、関わっていきたい・もっと知りたいと思えるプログラムに昇華していくことができると良い。例えば以下に挙げるような要素をプログラムに加えていけると良い。

- ・大学生が「地域のフィールドワーク」をすることを主軸に、多摩区の「農」の掘り下げを行っていく
ex) 多摩区の直売所やスーパーなどを調べてまわり、健康的に「食」に触れられるデータベースを作る
- ・多摩区の食材を使ったレシピを、様々な飲食店と協力して開発して振る舞う
- ・多摩区の「食」にまつわる様々な人を探し、インタビューを行っていく
- ・大学のゼミや研究室の「食」のテーマをお借りして、3大学の学生なりに地域の中で掘り下げてみる

2 | 複数の地域活動の受け皿を設定する

昨年度の報告書でも触れられているが、大学生の地域参加は、ゼミとしてのフィールドワークや研究等による関わりや、多摩SDCを始めとした地域活動、ミライノバで行われているのぼりと園芸部など、研究室単位から個人単位まで、幅広い可能性がすでにあるものの、3大学の大学生にまだまだ伝わっていないのが現状である。今年度の「たまなび」でも、プログラムの中で様々な地域活動に触れる機会を直接的・間接的に展開したが、引き続き、大学生から見た時に地域に可能性を感じられる仕掛けや受け皿を設定していくことができるという。

3 | 参加者が「自分ごと」としてまちに関わり思考する「余白」のあるプログラム

昨年度の報告書にも通じるところではあるが、インプット（知る、調べる、地域の人と交流する）に充てる時間が全体のプログラムの中ではどうしても多くなってしまい、大学生が能動的にまちに関わって思考する「余白」が少なくなってしまう。

次年度以降は募集時期を大学の夏季休業の前に行い、休業明けなるべく早い時期からの実施とすることでプログラムに余裕を持たせ、インプット期間の後に、大学生がより自主的に動いていけるような設計を行っていけると良い。なお、自由度が高すぎると何をしても良いか分からない大学生や、不十分な大学生同士の交流の為に積極的になれない大学生が出てくる可能性はある為、バランスの取り方は重要である。

4 | プログラムに地域の大人との接点を積極的に導入していく

今年度関わってもらったサポーターの3名や、地域活動の実践者の方々、イベントに遊びに来てくれた地域の方々、総じて大学生が地域に関わることに好意的であり、交流できることを楽しみ、積極的にプログ

ラムづくりに伴走してくれていたことから、大学生の地域参加の間口を広げてくれる可能性を感じることができた。地域の色々な大人に触れる機会は、大学生の将来の選択肢を増やすきっかけにもなっていた。

次年度以降の「たまなび」では今年度以上に、地域の大人が参画し、様々なスキルを活かしてもらうことで、「たまなび」参加後、大学生が地域に参加したいと思えるプログラムに成長させられると良い。

以上

7 資料編

(1) 募集チラシ

専修大学・明治大学・日本女子大学
多摩区ゆかりの3大学の学生向け

COLORS FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th

川崎市
Green For All
KAWASAKI
2024

多摩区
TAMA

たまなび

2024

参加者募集中!
応募締切 / 2024年9月13日(金)

Theme
多摩区の食を楽しもう
多摩区ゆかりの3大学の学生が集まって
チームを組んで、地域の魅力やニーズを探り、
身近にある食材でつくった料理を
イベントで提供する企画を実施しませんか？

Outline 詳細は裏面をご覧ください
実施期間 / 2024年9月下旬～12月中旬
実施場所 / 多摩区役所ほか

プログラム 全 6 回	定員 15 名程度	参加費 無料 [応募必須]
-----------------------	---------------------	----------------------------

多摩区ゆかりの3大学の学生同士でチームを組んで、地域の魅力やニーズを探り、 身近にある食材でつくった料理を提供するイベントを実施しよう！

「たまなび」は、川崎市多摩区にゆかりのある3つの大学（専修大学・明治大学・日本女子大学）の学生の皆さんを対象に行う、「多摩区を知り・学び・実践する」連続プログラムです。

今年度のテーマは「多摩区の食を楽しもう」。多摩区在住の調理師の方、農に関わる方にサポートしていただきながら、多摩区の食を知り、普段の暮らしに取り入れられるレシピをチームで考え、イベント

を企画して地域の方々にお披露目する、全6回のワークショップを開催します。

普段過ごしているまちに少し目を向けて、自分なりの楽しみを見つける機会にしませんか？

多摩区のまちを舞台に「いつも通っているまちについて知りたい」「レシピづくりや企画づくりを体験したい」「他大学の学生と交流したい」.....そんな思いをもつ大学生の皆さんの参加をお待ちしています！

サポーター 多摩区で活躍されている皆さんが、たまなびをサポートしてくれます！



料理する喜びと楽しさを
伝えたい！

好井祐輔さん
フランス料理店 ディアログ
オーナーシェフ



住宅に囲まれた
畑の魅力を見つけよう！

清水まゆみさん
かわさき・食と農のコミュニティ代表



多摩区のまちを
わづらわにする！

スミナツコさん
グラフィックデザイナー
多摩区 PR アンバサダー

プログラム

1. オリエンテーション

日時 / 9月24日(火) 18:00 - 21:00 場所 / 多摩区役所

- ▷ プログラムの説明
- ▷ 多摩区の「食」事情について知る
- ▷ お互いに自己紹介&チームづくり

2. 多摩区の農地を知ろう 9月29日(日) 10:00 - 15:00

3. レシピを考えよう 10月22日(火) 18:00 - 21:00

4. イベントを考えよう 11月5日(火) 18:00 - 21:00

5. お店を開店しよう 12月7日(土) 11:00 - 15:00

6. 振り返ろう 12月17日(火) 18:00 - 21:00

※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください



第5回目に、地域の方々や大学生に、考えたレシピや多摩区の「食」についてお披露目するイベントを企画・実施します。

実施概要

期 間 / 2024年9月～12月(全6回を予定)

対 象 / 多摩区ゆかりの3大学の学生(大学生・院生)

[専修大学・明治大学・日本女子大学]

全6回のプログラムに参加可能な人

定 員 / 15名程度(申込制 / 申込多数の場合抽選)

参加費 / 無料

申し込み

専用申込フォームにアクセスし、
氏名(ふりがな)、大学・学部名、
学年、住所、電話番号、メールアドレス、
応募動機(150字程度)をご記入ください。



申込フォーム

問い合わせ先

川崎市多摩区役所まちづくり推進部企画課

〒214-8570 川崎市多摩区登戸1775-1

電 話 : 044-935-3147

Email : 71kikaku@city.kawasaki.jp

(2) 第1回 | 映写資料



本日の流れ

1.1 オリエンテーション

- 18:00 開会・はじめに
- 18:05 たまなびについて
- 18:15 スタッフ・サポーターの紹介
- 18:40 テーマ「食」について
- 18:55 自己紹介
- 19:05 グループワーク 心算をしながらお餅がど同士で笑え
- 20:50 今後の進め方・事務連絡
- 21:00 閉会

たまなびについて



たまなび

3つの大学に通う皆さんがゆかりのある川崎市多摩区を知り
自分たちの興味関心を通じて一歩深く地域に触れて
人に伝えたいようなまちに自分なりにしていくプログラム



工業・商業が中心である市南部地区は、コマツナやホウレンソウなどの軟弱野菜（収穫してからの痛みが早い野菜）などの露地野菜（屋外において栽培される野菜）の栽培が行われています。



中部地区の中でも、中原区では、コマツナやホウレンソウなどの軟弱野菜やエタマメなどの当地野菜、ハンジー、ハボタン、シクラメン等の花き・鉢物が栽培されています。

高津区では、露地や施設の野菜を中心に、果樹、花き等が栽培されています。



市内で農家数が多い宮前区では、ブロッコリーやダイコン、トマト等の露地・施設野菜、果樹では梨やブドウ、また、メロン栽培も行われています。他の区と比べて、花き・樹木の栽培は特に盛んで、希代の花桃は有名です。



麻生区では、岡上、黒川東、黒川上、早野の4地区が農業振興地域に指定されており、露地や施設野菜、果樹、水稲が栽培され、さつまいもの掘り取り等の観光農業も行われています。岡上にはワイナリーもあります。



多摩川梨



のらぼう菜

多摩区では、梨、ブドウ、ウメ等の果樹栽培が盛んに行われています。露地野菜では甘く柔らかいほう菜が近年注目を集めています。



多摩区ゆかりの3大学の学生が集まって、チームを組んで、地域の魅力やニーズを探り、身近にある食材でつくった料理をイベントで提供する企画を実施しています！



自己紹介

グループワーク

進め方

席替えをしてグループを替えながら違うテーマで3度の交流を行います

今回はお友達同士が仲良くなる！が目的……
楽しくいきましょう！

Round ①

15分

学生生活で楽しいことって？

授業、バイト、サークル、課外活動 etc...

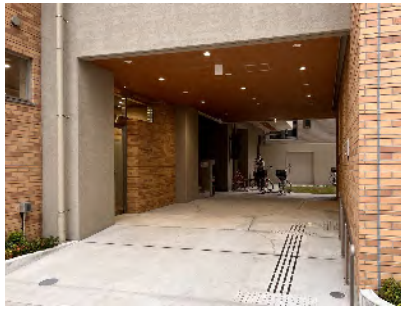
- ・簡単に自己紹介しよう（1人30秒くらい）
- ・気になる話題があったらメモしよう

席替え

Round 2 15分 多摩区のイメージってある？ 自然, etc.... ・簡単に自己紹介しよう（1人30秒くらい） ・気になる話題があったらメモしよう	席替え	Round 3 15分 「食」ってテーマで何ができる？ 料理, 外食, 農地, 海外活動 etc.... ・簡単に自己紹介しよう（1人30秒くらい） ・興味深い話があったらメモしよう
全体共有 2分 Round 2 で話し合ってた話題を 各グループ2分で共有します 発表は1人でも2人でも全員でも構いません これは伝えたい!と思うものを共有しましょう	チームをつくる	アンケート記入
次のたまなび	次のたまなびは？ 第2回 多摩区の農地を知ろう 2024.9.29(日) 10:00-15:00(9:50開場) 集合 JR南武線稲田駅北口 参加者 ・のらぼう菜農家さんを訪れる ・多摩区の農地の状況を知る ・のほりど園芸部を訪れる ・フィールドワークの作成会議 講師 ・はなぶさ農家の 2人の娘さんをお迎えします！ 清水 幸ひあゆみ 2024.8.20入会 1.2 ユニオン ・もぎ実のまちを 訪れて学ぶ スミナツコロン 2024.7.20入会 20歳以下メンバー	閉会 2分, おつかれさまでした!

(2) 第3回 | 映写資料

たまなび²⁰²⁴ 	本日の流れ	n3 レシピを考える 18:00 開会あいさつ 18:05 好井さんの紹介 18:15 フィールドワークの共有 18:25 レシピづくり&つくってみる 20:35 片付け 20:50 今後の進め方・事務連絡 20:55 閉会
サポーターの紹介	第3回・4回をサポート  料理する喜びを 伝えたい!! 好井祐輔さん フランス料理店 ディアログ オーナーシェフ	フィールドワーク共有



レシピづくり & つくってみる

次のたまなびは？

第4回 企画を詰めよう

2024.11.5 (火) 18:00-21:00 (17:30謝場)

集合 多摩市民館 5階 料理室 (多摩区役所)

やること

- ・レシピを詰める
- ・企画を詰める
- ・第5回企画の紹介

シェフ陣にお持ちください

サポーター

お世話になる方々

好井祐樹さん
17:30集合場所、受付
等々

ちきりなまなび
のりこさん

スミナシコさん
18:00集合場所
受付等々

閉会

21時、おつかれさまでした！

(3) 第6回 | 映写資料



本日の流れ

第6回 振り返ろう&交流会

18:30	開会あいさつ
18:35	これまでを写真で振り返る
18:45	「グループワーク」で振り返る
19:45	事務局より/地域での活動窓口の紹介
20:05	アンケート記入
20:10	交流会
21:00	閉会

これまでを写真で振り返る

グループワークで振り返る

事務局より

地域での活動窓口の紹介

アンケート記入

閉会 → 交流会

(4) イベントのチラシ、リーフレット

主催
たまなび
2024

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

川崎市

Green For All
KAWASAKI
2024

TAMA

食でつながり、みんなで深める

多摩区の まだ知らない魅力を のぞいてみよう

多摩区で収穫された食材を活かし、
ミートローフをはじめとする料理をご用意しました！

私たちって？

地元の大学生が活動中！

多摩区にゆかりのある専修大学、明治大学、日本女子大学の学生であり、たまなびを通して、地域の皆様から「食」をテーマに多摩区の魅力を学んできました。

見どころ

無料で試食を楽しめる！

試食会を通じて、交流を楽しみつつ、多摩区ならではの食材の魅力や地域への新たな気づきを共有できればと考えています！ぜひ、皆様お問い合わせの上、お越しください！

日時:2024年12月7日(土)
14時～16時

場所:SUGAR TIME COFFEE
(シュガータイムコーヒー)

アクセス:
向ヶ丘遊園駅北口から徒歩3分
登戸駅から徒歩5分

運営サポート：合同会社三画舎
問い合わせ：info@sankakusha.net

事前にご予約いただくと、お料理の取り置きが可能です！
代表者氏名、人数をご記入ください

シュガータイムコーヒー

登戸2号線 1F

向ヶ丘遊園駅 小田急線

南武線 登戸駅

ご予約はこちらから↑

生産者情報

のらぼう菜 高橋農園 (見学に行きました！)

高橋農園 (多摩区雪野戸田) では、川崎の伝統野菜であるのらぼう菜を中心に栽培しています。のらぼう菜は2月下旬から4月にかけて収穫され、主に直売所で販売されています。のらぼう菜名人と称された高橋孝次さんの想いを受け継ぎ、現在も農園の皆さんが丹精を込めてその伝統を守り続けています。また、かわさきのらぼうプロジェクト (主宰：清水まゆみさん) では、小学校などで紙芝居を披露し、のらぼう菜の魅力やその歴史を広く伝える取り組みを行っています。

梨 松屋梨園 (コンポートに使用)

松屋梨園 (多摩区生田3丁目) は、江戸時代末期から150年以上続く梨農家です。梨以外にも杏やスモモなどを果樹をメインに栽培しています。10種類以上の梨を育てており、7月後半から9月後半まで楽しむことが出来ます。現在、梨の販売方法は直売が全体の3割、通販が7割を占めていますが、来年は直売をさらに拡大し、地域の皆様により親しまれる梨園を目指して取り組む予定とのことです。

卵 関養鶏場 (スイートポテトに使用)

関養鶏場 (多摩区生田2丁目) では、70年ほど前から多摩区で養鶏を行っています。創業当初はニワトリに加え、豚やブライザーも飼育しており、最盛期には4000羽を超えるニワトリを飼育していました。現在は約1000羽のニワトリを飼育しています。飼育しているのは、赤ピンク (桜色) の卵を産む種と赤玉を生む種の、2種類です。自動販売機では主に赤玉を販売しており、農協では両方の卵を販売しています。

12月頃でも多摩区で手に入る野菜

高橋農園：里芋、春菊、ネギ

他の農園：ダイコン、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カブ、ニンジン、さつまいも

たまなびについて

たまなびは、多摩区にゆかりのある3大学 (専修・明治・日本女子) の学生を対象にした、「多摩区を知り・学び・実践する」プログラムです。「たまなび」は情報発信・案内の「ナビ」と地域住民と学生の「学び」を表現しています。今年度は「多摩区の食を楽しもう」をテーマに、3大学の学生が、農家など地域の方々から多摩区の魅力を学び、地域の魅力を発信する活動を行っています。

活動風景



運営サポート：合同会社三葉舎
問い合わせ：info@sankei.co.jp

たまなび 2024

食でつながり、みんなで深める

多摩区の
まだ知らない魅力を
のぞいてみよう

ミートローフレシピ



たまなび ミートローフ



材料 (1本分)

- ・合挽き肉 850g
- ・全卵 2個
- ・パン粉 大さじ 3
- ・塩・胡椒・ナツメグ 適量
- ・玉ねぎ 1個
- ・白菜 3~4枚
- ・ベーコンスライス 3~4枚
- ・ゆで卵 4個
- ・さつまいも 1個

多摩区で
採れた
野菜と卵
を使用

レシピ



1. 事前にさつまいも、卵、白菜を茹でる
2. みじん切りにした玉ねぎを炒める
3. aと玉ねぎを混ぜる
4. ラップを敷き、ベーコンスライスと白菜を交互に並べる
5. 4.の上に肉、さつまいも、ゆで卵をおく
6. 形を整えて、180℃のオーブンで40分程度加熱



春はのらぼう菜を
中に入れても
美味しいよ！



スイートポテトのレシピはこちら→

レシピ監修：フランス料理店 ディアログ オーナシェフ 好井祐輔さん